2018年パリマラソン
5万5000人がシャンゼリゼなどパリの名所を疾走



8日（日）、2018年パリマラソン（Marathon de Paris 2018）が開催され、およそ5万5000人のランナーが、シャンゼリゼ大通り（Avenue des Champs-Élysées）を始めとする、パリの有名な名所を駆け抜けました。

世界２番目の規模の大会

パリマラソンは、世界のトップ選手が競い合うIAAF（国際陸上競技連盟）公認のフルマラソンで、ニューヨーク、ロンドン、ベルリン、シカゴで開催されるマラソン大会と並んで、世界の５大マラソン大会に数えられています。1976年以降、毎年４月に開催され（湾岸戦争の為1991年大会

は中止）、ゴールする人数の数では、ニューヨークシティマラソンに次いで、世界で２番目の規模を誇ります。

名所が目白押しの贅沢なコース

凱旋門をスタートし、その後シャンゼリゼ大通りを走り、コンコルド広場（Place de la Concorde）、ルーブル美術館（Musée du Louvre）沿い、バスティーユ広場（Place de la Bastille）、ヴァンセンヌ城（Château de Vincennes）やヴァンセンヌの森（Bois de Vincennes）を抜け、再びパリ市内に戻ります。その後は、セーヌ川沿いを走り、ノートルダム大聖堂（Cathédrale Notre-Dame de Paris）やグランパレ（Grand Palais）、エッフェル塔（la Tour Eiffel）を見ながら、ブーローニュの森（Bois de Boulogne）を抜け、再びパリに戻る42,195㎞のコースです。

前日の7日（土）には、ドイツのミュンスター（Münster）で、群衆に小型のトラックが突っ込み３名が死亡、数十名が負傷（運転手は拳銃で自殺）する、テロと思われる事件が発生し（後に捜査当局によってテロの可能性は否定）、厳重な警備の中での開催となりましたが、大きな混乱や事故もなく、小春日和の爽やかな気候のもとで、参加者たちはパリの街並みを快走しました。

男女とも、上位３名はケニア勢が独占しています。日本の高島由香は８位に入りました。

男子
１位 Paul Lonyangata（ケニア）2時間06分25秒
２位 Mathew Kisorio（ケニア）2時間06分36秒
３位 Ernest Ngeno（ケニア）2時間06分41秒

女子

１位 Besty Saina（ケニア） 2時間22分56秒
２位 Ruth Chepngetich（ケニア）2時間22分59秒
３位 Gulume Chala（ケニア）2時間23分06秒

８位 高島由香（日本）2時間26分13秒

世界のトップ選手も参加し、市民も大いに盛り上がるお祭りの雰囲気が魅力のパリマラソン、皆さんも参加してみてはいかがでしょうか。

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師による
マンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。
いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた
質の高いレッスンが好評です。

